

世界  
国連特別総会として  
「女性2000年会議」  
がニューヨークで開催

## 男女共同参画社会に向けて

国

県

木更津市

平成11年

5月 男女共同参画審議会が「女性に対する暴力のない社会を目指して」を答申

6月23日  
男女共同参画社会基本法公布施行

平成12年

12月 「男女共同参画基本計画」策定

平成13年

1月 「総理府男女共同参画室」から「内閣府男女共同参画局」に改組  
「男女共同参画会議」設置

2月 「男女共同参画会議」に子育て支援策調査会を設置

4月 DV(ドメスティック・バイオレンス)防止法公布

3月 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」発行

4月 「青少年女性課女性政策室」から「男女共同参画課」に改組

3月 「千葉県男女共同参画計画」策定

11月～12月 「男女共同参画社会の実現に向けての女性施策に係る市民意識調査」実施

3月 「男女共同参画社会の実現に向けての女性施策に係る市民意識調査」報告書発行

..... 予定 .....  
(仮称)木更津市男女共同参画計画策定作業

このほか  
毎年開催しているもの  
きさらづ女性フォーラム  
きさらづ女性カレッジ  
女性団体交流集会

### キーワード

**男女共同参画社会** 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的・経済的・社会的・文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会のこと。

**ジェンダー** セックスが生物学的性差を表すのに対し、ジェンダーは文化的・社会的な性差をさす。いわゆる「男らしさ」「女らしさ」や、物事の適性について性別により「向き不向き」をとらえる考え方のこと。

**リプロダクティブ・ヘルス/ライツ** 子どもを産む産まないの決定は女性の権利として、妊娠・出産にかかわる女性の健康の重視と自己決定権の確立をめざす考え方。女性の体と性の問題を、ライフサイクルの中の健康と権利という幅広い視点でとらえていこうという女性にとって非常に重要な概念。

**エンパワーメント** 「力をつけること」の意。具体的には、自ら意識と能力を高め、政治的・経済的・社会的・文化的に力を持った存在となることを意味する。



みんなできつくる

## 男女共同参画社会

みんなが主役の新世紀！  
「男女」が「共同」して、仕事や学校、地域に家庭に「参画」していく時代です。性別にとらわれず、自分らしく生きられたら...  
それは、「難しい」とじゃない。  
「コロの角度を、ちょっと変えてみて。  
「みんなが主役」であるために。

時代が  
求めている

少子高齢化・経済の成熟化・国際化・情報

化などが加速的に進むなか、人々の価値観やライフスタイル・家族形態の多様化など私たちの生活も変化してきています。

その社会の  
実現のために

このような変化は、男女が性別にとらわれず個性と能力を十分に発揮することができ、個々の生き方の多様性を認める社会づくりを必要としています。

## 男女共同参画計画 皆さんとつくります

その社会の実現には、男女が社会の対等なパートナーとしてさまざまな決定の場に「参加」するだけでなく、決定に至るまでの議論の場から加わって「参画」していくことが必要ですが、政策の立案や決定の場での女性の比率は、まだまだ低いのが現状です。そこで、エンパワーメントが重要になってきます。

「木更津市女性行動計画デュエットプラン きさらづ」の計画期間終了に伴い、第2次計画となる「(仮称)木更津市男女共同参画計画」を平成13年度中に策定します。

その必要性を掲げている男女共同参画社会の形成は、市民と行政があらゆる分野でともに取り組んでこそ、達成できるものです。そこで、新計画の策定は、市民の声を聞くための組織として男女共同参画計画策定市民検討会を設置するとともに、市内の検討機関として男女共同参画施策庁内連絡会議と研究会をつくり、市民と行政が両輪となって策定します。

そして、家庭・地域・学校・職場でジェンダーにとらわれず、男女が尊重し合い、共生・協働していくことが男女共同参画社会の実現の第一歩です。

この計画は、男女共同参画社会基本法に基づき策定された国や県の計画を踏まえて、私たちの市が「男女が共に参画する活力あるまち」をめざすためにつくられる計画です。基本法で「わが国の最重要課題である」と

その計画は、男女共同参画社会基本法に基づき策定された国や県の計画を踏まえて、私たちの市が「男女が共に参画する活力あるまち」をめざすためにつくられる計画です。基本法で「わが国の最重要課題である」と

ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence)

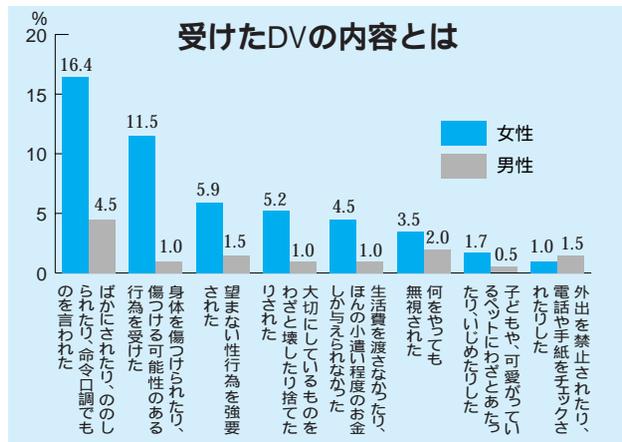
親密な関係にある男性から女性に対してふるわれる暴力のこと。「親密な関係」には夫に限らず、同せい相手・恋人・婚約者や別れた夫なども指す。

- 身体的暴力 殴る・ける
- 心理的暴力 言葉や態度で侮辱
- 経済的暴力 生活費を入れない 就労を禁止する
- 性的暴力 避妊に協力しない 性行為の強要

このほか女性に向けられる暴力には、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメントなどがあるが、その根底には女性に対する差別意識があるといわれている。

多いということがわかります。内容は男女共に「ばかにされたり、ののしられたりした」心理的暴力が一番多く、次いでDVを受けた女性の10人に1人が身体的暴力を経験、または身体を傷つける可能性のある行為を受けていました。

その調査結果からDVに関する本市の実態



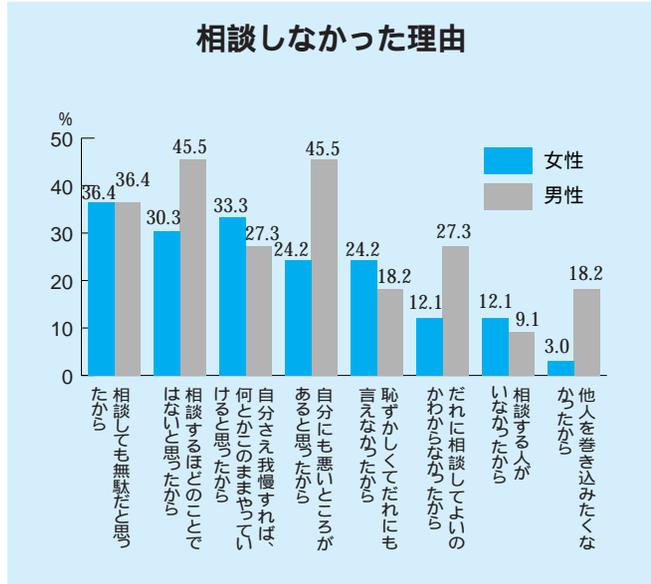
この結果から、暴力を受けるのは圧倒的に女性の方が多いため、女性に合わせた対応が必要とされています。

DVドメスティックバイオレンス 夫 妻

女性の1/4がDVの経験があるという事実。「相談しにくいことだから」表面化しにくかった問題。しかし、生命をおとす深刻なケースもあり。まずは、一人ひとりの認識と周囲の理解が必要です。

受けた暴力とその内容

DVは親密な関係に... 親密な関係の異性から暴力を受けたことがあるという人は、女性で24.4%と、男性は約4%に達し、男性の7%を大きく上回りました。



「相談しなかった理由」は、女性に比べて男性の方が「相談しなかった」という人が多く、女性約34%、男性57%という割合が見られます。また、女性の年代別にみると、「相談した」は若年層でほぼ6割と比較的多いのに、年齢層が上がるに従って減少しています。

「相談しなかった理由」は、女性に比べて男性の方が「相談しなかった」という人が多く、女性約34%、男性57%という割合が見られます。また、女性の年代別にみると、「相談した」は若年層でほぼ6割と比較的多いのに、年齢層が上がるに従って減少しています。

「相談しなかった理由」は、女性に比べて男性の方が「相談しなかった」という人が多く、女性約34%、男性57%という割合が見られます。また、女性の年代別にみると、「相談した」は若年層でほぼ6割と比較的多いのに、年齢層が上がるに従って減少しています。

DVに関する相談の経験は... 一方、「相談しなかった」は高年齢層が25%と、もともと多く、相談することに対する考え方の差が年代別に現れています。

女性団体交流集会 PART6 予告

この交流集会は、市内で女性が中心となって活動しているグループ・サークル・女性問題に取り組む団体などを対象に、団体相互の情報交換やネットワークづくり、団体活動の活性化を図るために開催しています。

前回(PART5)は2月7日に市民総合福祉会館市民ホールに、17グループ・合計43人の参加者が集まりました。

講師の川崎市人権・男女共同参画室長の高橋さんから「川崎市の市民団体の活動やネットワークづくりについて」のお話を聞いたあと、地域で自分たちにできることや女性リーダーの育成の意見交換などの各テーマについて話し合い、発表を行いました。

これまで市が企画し募集していましたが、今年度は企画の段階から団体の代表などに参画していただく予定です。

これまでに参加した団体はもちろん、新しい仲間をお待ちしています。



きさらづ女性フォーラム 報告

2月24日、かずさアカデミアホール大会議室において、約600人の参加を得て開催された第9回きさらづ女性フォーラム。

かずさジュニアオーケストラによる弦楽器演奏が、ドラマチックにオープニングを飾りました。

第1部は、東京家政大学教授・女性と仕事の未来館館長の樋口恵子さんによる講演が行われ、基本法の成立に携わったのエピソードや男女共同参画社会の必要性を身近な例を挙げ、分かりやすくお話しいただきました。

第2部は4つの分科会に分かれ、助言者の貴重なお話を聞きながら活発な意見交換が行われました。

次回は第10回となる「きさらづ女性フォーラム」の企画実行委員会が今年度も動き出しました。どうぞお楽しみに。

**ビデオレンタルします**  
 「21世紀はみんなが主役 ~男女共同参画社会基本法のあらまし~」  
 規格 VHS23分  
 企画制作 内閣府男女共同参画局  
 貸出場所 市役所女性・国際施策班

**本**  
 男女共同参画(女性施策)に関わる本を、図書館にコーナーを設けて配置してありますので、ご利用ください。

デュエットの情報は